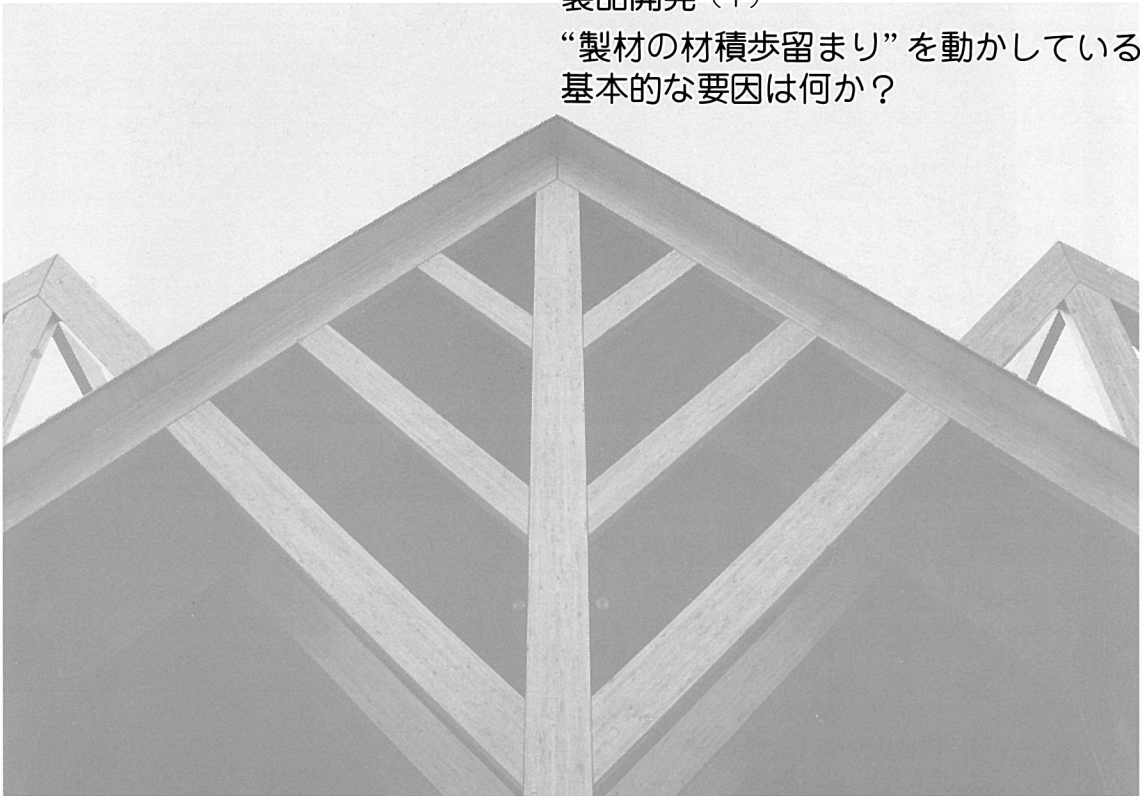


ウツデイエイジ

フィトンチッドの効用（2）

異業種交流によるエクステリアウッドの
製品開発（1）

“製材の材積歩留まり”を動かしている
基本的な要因は何か？



ウッドエイジ

木材の研究と普及
第42巻・通巻 493 号

目 次

フィットンチッドの効用 (2)	1 A
—多機能な樹木の精油成分—	
<hr/>	
異業種交流によるエクステリアウッドの 製品開発 (1)	1
＝バス待合所＝ “製材の材積歩留まり”を動かしている 基本的な要因は何か?	6
内外の話題	5
〔接着と塗装の環境問題〕 〔ナラの乾燥変色〕	
行政のまど	14
〔平成6年度北海道林産関係主要施策の概要〕	
愚感随想	15
林産試験情報 (林産試験場報の紹介)	16
林産試ニュース	18



白糖町 M7.8パネル館

この建物は、平成5年1月15日に発生した釧路沖地震の災害状況をパネルで展示するための施設として建設された。敷地が海に近いことから塩害に強い性質を考慮し、また地場産材の活用という点から、構造材としてカラマツの構造用通直集成材が使用されている。

形態としては、周囲の林地になじむように通直集成材の組み合わせによって樹木の基本形を重ね、全体として山並みを表現し、あわせて地震の波形もイメージさせている。全体的に開放的で、気軽に立ち寄りやすい建物である。